

この春に京都に桜を見に行きました。先代が、あの円山公園の枝垂れ桜を育てられた佐野藤衛門さんの造園に入れて頂き、誰もいない桜の山を堪能！直にいろいろなお話を伺わせて頂きました。ひたすら桜を見つめ育て続けていらっしやる藤衛門さんの言葉には含蓄があり、改めていろいろ考えさせられました。「人間の便利がひとつ増える」と自然は二つは死ぬ。



写真撮影・高岡輝幸氏

爽やかな五月のはずなのに：不順な天候が続いています。今年は何か変です！桜の季節も、真冬並みの寒さになったり、五月も真夏の暑さが続いたり：四季の気持ちの良い春と秋がなくなつて、寒い、暑いかだけになつてしまふそう！どこかが狂いだしている気がします。

自然からの警鐘

シャンソン歌手 友納あけみ

だんだんと静かに破壊されていく自然に、桜は身を持って警鐘を鳴らしているようです。いつも東京湾で釣りをなさっている大学の先輩は、東京湾でいるはずのない鰻が釣れたり、船頭さん達が異変に追われていると：陸も海も、地球が悲鳴をあげているのかもしれない。

そんな時にミサイルだ！テロだ！と、人間は本当に愚かです！春夏秋冬！季節が巡つていき、自然が情景を変えていく：こんな素晴らしい恵みを大切にしないで、壊し続け、何をしよう！地球は暗い大きな宇宙の中のたったひとつの奇跡の様に生まれた小さな星！人間以外の生き物達は、みんな警鐘を鳴らしています。流れてくるおぞましいニュースを聞く度に本当に暗澹とした気持ちになります！

花が重なつて垂れ下がつて咲く様子を、武将が合戦の時などに命令を下す時に振る、「采配」に似ている事から、この名前が付いています。



ラン科・サイハイラン属

高尾山 四季の草花

112

サイハイラン 采配蘭

葉の脇から長柄を出して二十〜三十ヶの紅色から紫色までの花を下向きに咲かせますが、あまり開かず花は片側によつて咲きます。花後、葉は枯れて秋に新しい葉が出来ます。葉は細長い長卵形で先端が尖り、エビネの葉に似ています。エビネの葉は三枚で、サイハイランの葉は一枚です。常緑なので草が無い冬季に見つけておくといひと思えます。

花の色は変化が多く、「緑っぽい色」や「ベージュ色」迄あるので、注意して観察して下さい。

(撮影・文 中村 毅人)

高尾山 季節散歩

暦の言葉

「二十四節気」 処暑「しよしよ」

処暑は八月二十三日頃に当ります。処とは止まるという事を意味し、厳しい暑さが和らぎ始める頃になります。この時期を過ぎますと、夜になるとスズミシヤコオロギなどの秋の昆虫の音が、庭から聞こえ始めてきます。

今月の行事 八朔

八朔は旧暦の八月一日で、この時期に稲穂が実り始めます。早稲の穂が実るので、農民の間で初穂を恩人などに贈る風習がありました。そのため、「田の実の節句」とも呼ばれます。同時に、台風が襲来する時期でもあり、被害が出ないようにと田の神様に祈願する日でした。

院内散歩 6

薬王院の展示物



ロートアイアン 「あわてず ゆっくり 確実に」 作・チャーリー磯崎

健康登山者投稿作品 「健康登山の証」を励みにそして富士登山 横浜 森村 三恵子

毎月の高尾登山で足を鍛えながら、富士登山を目指しております。富士山は今から二千年ほど前の「庚申の年、申の日」に出現したとの逸話があります。静岡県出身、昭和七年申年生まれの際は、深く御縁を感じております。

富士山への初登山は高校二年生の時、夏期行事に参加してのことでした。次は選歴プラス二回りの申年から毎年の連続十回。その後、膝臓と肺の手術を受けましたが、体力温存にて、申年の昨夏に十二回目の登山に挑戦いたしました。

台風七号の去つた八月十九日、富士宮口登山道の元祖七合目にある小屋に泊り、翌二十日は十号・十一号台風の影響で同地に連泊、そして二十一日に頂上へ。

奥宮に参拝して剣ヶ峰に到達し、頂上富士館に泊りました。二十二日には九号台風に見舞われ、又もや富士館に連泊となりました。翌二十三日、吉田口・富士スバルライン五合目に下り、バスで富士山駅に下山いたしました。

台風の影響で日数はかかりましたが、念願の申年に、十二回目の富士登山が叶い、又、私のオリンピックの参加気分を味わうことが出来ました。街中から富士山を眺める度に、あの天辺に立つたのだと改めて感慨無量です。神仏に守られていることと感謝します。

高尾山 健康登山に 支えられ 八十四の身なれど 思い叶ひし 合掌